

「早め早めの「空き家対策」を

空き家相談会 開催

空き家の利活用や相続、契約などの悩みに、宅地建物取引士や司法書士が応じます。空き家になった建物が再び活用されるため、空き家が周囲に悪影響を及ぼさないためには、持ち主の早めの決断が重要です。

日時 5月1日(木)、2日(金)午前9時～正午、午後1時～4時45分

場所 市役所市民ホールまたはオンライン

相談内容 ・空き家の利活用に関すること

・住宅のリフォームや耐震診断、住宅診断に関すること

・空き家情報バンク制度の利用や登録に関すること

・相続や契約に関すること

・市の助成制度に関すること

参加料 無料

申込方法 防災防犯課(市役所2階②6番窓口)やホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで申し込む

申込期間 4月1日(木)～25日(金)

その他 相談当日は、建物の外観写真や図面、登記簿、賃貸借契約書、相続関係説明図などの参考資料を持参



するとスムーズに相談できます

問 防災防犯課 (☎64・4800)

FAX 66・7708

〒912-8666(住所は書かなくても届く)

電子メール

bosai@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら



▲詳しくはこちら

空き家関係補助制度

◆空き家家財処分支援事業補助金

空き家バンクに登録された空き家の家財処分にかった費用の一部を補助

補助上限 10万円(補助率3分の2)

◆空き家適正管理促進事業補助金

空き家バンクに登録された空き家の管理のため、管理代行サービスにかかった費用の一部を補助

補助上限 年間3万6000円(補助率3分の1)※最大3年間

問 地域文化課 (☎64・4834)

道の駅「越前おおの 荒島の郷」周年祭

道の駅「越前おおの 荒島の郷」は4月22日に開駅4周年を迎えます。日頃の感謝の気持ちを込めて、周年祭を開催します。

楽しい企画をたくさん予定しています。ぜひ遊びに来てください。

日時 4月19日(土)、20日(日)午前9時～午後4時

企画内容 ・春の収穫祭(産直の会の農家による新鮮野菜の対面販売)
・大野産花桃酵母を使用したパンの試食会
・「サイキックマスターNAO」によるマジックショー など

その他 詳しくはホームページやインスタグラムを確認してください

問 道の駅「越前おおの 荒島の郷」 (☎64・4500)



▲詳しくはこちら▲

「夢グループ×大野市」コラボ動画 第2弾

テレビ通販事業などを手がける株式会社夢グループと本市とのコラボ動画の第2弾を制作しました。今回は本市の魅力を全9本にわたって紹介しています。ぜひ見てみてください。



▲動画はこちら

- 内容**
- ・全体版
 - ・越前おおの観光ビューロー編
 - ・道の駅「越前おおの 荒島の郷」編
 - ・大野在来そば編 part1
 - ・大野在来そば編 part2
 - ・醤油編
 - ・日本酒編
 - ・城下町散策編
 - ・化石発掘体験センターHOROS SAI編

問 産業政策課 (☎64・4816)



COCONOアートプレイス企画展

近藤吾朗展 『同時代の作家たちと共に』

今回の企画展では、近藤吾朗が訪れた西アジアや北東アフリカの風景や、寺社仏閣を描いた作品を中心に展示します。

また、同時代の作家である岡本太郎や小野忠弘、北川民次、利根山光人、難波田龍起の作品を展示し、当時の日本美術界のさまざまな表現を紹介します。

期間 4月12日(土)～6月22日(日)

場所 COCONOアートプレイス

観覧料 大人300円、中学生以下無料

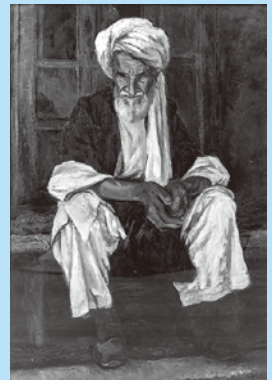
問 COCONOアートプレイス (☎64・4848)



近藤吾朗氏とは

明治44年に本市に生まれる。絵具を多量に使い重厚感のある絵肌で、物や人の内面までも描くことを追求した画家。

中国やフランスに滞在し、東洋美術や西洋美術を学ぶ。豊富な知識と技術を習得し、独自の描画スタイルを確立する。



展示作品
『コンバルト村の老人』

越前大野名水マラソン練習企画

走る楽しさを味わう2 days レッスン

「第61回越前大野名水マラソン(5月25日開催)」に向けて、走る基礎を学び、楽しく走る習慣を身に付けませんか。大会に出場しない人の参加也大歓迎です。

日程	時間	内容	対象	定員(先着)
4月27日(日)	午前9時～11時	基礎編	小学生以下(親子参加可)	15組
	午後1時～3時		中学生以上	15人
5月11日(日)	午前9時～11時	応用編	小学生以下(親子参加可)	15組
	午後1時～3時		中学生以上	15人

※両日の参加を推奨します

場所 奥越ふれあい公園

講師 街おこしランナー 新井博文さん

参加料 各回500円(保険料含む)

持ち物 飲み物、タオル、手つなぎ用のタオル(親子で参加する人のみ)

服装 動きやすい服装

申込方法 電話かエキサイト広場窓口、専用フォームから申し込む

申込締切 4月18日(金)午後5時

問 スポーツ推進課 (☎65・5592)



▲申し込みはこちら



新井博文さん



教室・講座



星空案内人資格認定講座

「星や宇宙が好き」という思いを生かして、星空案内人になりませんか。満天の星が輝く六呂師高原の夜空の下で、一緒に楽しく学びましょう。

日程 5月11日(日)～令和8年3月22日(日)

時間 講座によって異なる

場所 県自然保護センター

対象 県内在住の中学生以上または県内に勤務する人

定員 20人(選考)

参加料 無料(テキスト代、望遠鏡ワークシート代別)

申込方法 ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで申し込む

申込期間 4月1日(火)～20日(火)必着
その他 詳しくはホームページを確認してください

問 県自然保護センター (☎67・1655)

FAX 67・1656

〒912-0131 南六呂師169-11-2

電子メール

size-n-ci@pref.fukui.lg.jp



▲詳しくはこちら

お知らせ



南六呂師サン・スポーツランド 利用方法変更

南六呂師サン・スポーツランドの利用予約や問い合わせの窓口を、4月1日(火)から観光交流課に変更します。予約はホームページからできます。

ミルク工房奥越前では予約を受け付けませんので注意してください。

利用施設 天然芝グラウンド

利用期間 6月1日(日)～10月31日(金)

休業日 毎週月

電話受付時間 平日の午前8時30分～午後5時

その他 ・予約は先着順です

・テニスコートは利用を中止します

問 観光交流課 (☎64・4817)

電子メール

kanko@city.fukui-

ono.lg.jp



▲詳しくはこちら

観光案内所を移転

元町会館と輝センターに設置していた観光案内所を、平成大野屋洋館に移転・統合します。

移転日 4月1日(火)

移転後所在地 平成大野屋洋館(元町1-2)

問 観光交流課 (☎64・4817)

不妊手術や人工妊娠中絶などを 受けた人への補償

旧優生保護法に基づく不妊手術や人工妊娠中絶などを受けた人に、国が補償金を支給します。

手続きの詳細は、県ホームページを確認してください。

問 県こども未来課

(☎0776・20・0286)

奥越健康福祉セン

ター

(☎66・2076)



▲詳しくはこちら

【期限迫る】物価高騰くらし応援給付金

「住民税非課税世帯への物価高騰くらし応援給付金」の申請期限が迫っています。2月中旬に対象と見込まれる世帯へ通知を送付しています。「確認書」や「申請書兼請求書」が届いた世帯は申請が必要です。

申請期限 4月30日(消印有効)

※期限を過ぎた場合、給付を辞退したものと取り扱います

その他 ・申請から振り込みまでは1

カ月程度かかります

・修正申告などにより、令和6年度住民税が非課税となる世帯は、別途申請が必要

です。問い合わせください

・給付金の概要は広報おおの2月号が

ホームページで確認してください

問 市給付金コールセンター(福祉課内)

告 告

告 告

☎ 64・4217
平日午前9時～午
後5時



▲詳しくは
こちら

春の交通安全県民運動

4月6日頃から15日頃の10日間は、春の交通安全県民運動期間です。交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣付けて、安心で安全なまちづくりを目指しましょう。

こんなことに取り組もう

- ・地域全体で協力し、歩行者が安全に通行できる道路交通環境を確保する
 - ・歩行者は周囲の状況に注意して横断する
 - ・横断歩道を横断中の歩行者を優先する
 - ・飲酒運転やながら運転をなくす
 - ・シートベルトやチャイルドシートを適切に使用する
 - ・自転車に乗るときはヘルメットを着用して、交通ルールやマナーを守る
- ☎ 市民生活・統計課 (☎ 64・4831)

ごみの祝日・第4日曜日受け入れ

日時 4月27日(日)、29日(火)昭和の日午前8時30分～正午、午後1時～4時30分
※ごみの分別と減量、ごみステーションの利用にご協力ください
場所 ビュークリーンおくえつ
☎ 大野・勝山地区広域行政事務組合 (☎ 66・6990)

縁結び結婚相談会

県の研修を受けた「地域の縁結びさん」が、個別にアドバイスやお相手紹介などの相談に応じます。

日時 4月6日(日)午前9時～正午

場所 結とぴあ

対象 結婚を考えている20歳以上の独身女性とその親(大野市、勝山市在住者限定)

参加料 無料

申込方法 電話で申し込む

申込締切 4月4日(金)
☎ 県「地域の縁結びグループ結いザウルス・縁結びの会」 玉木さん (☎ 090・8269・8529)

募集



化石調査隊 新規隊員募集

市内の化石調査を進める大野化石調査隊の新規隊員を募集します。調査活動は月1回です(冬季を除く)。

入隊希望者を対象に説明会を開催します。化石に興味がある人に限らず、多くの市民の参加をお待ちしています。

日時 4月12日(日)午前11時～正午(午前10時30分受け付け開始)

場所 くずりゅう化石ラボガ・オーノ

講師 市学芸員

対象 小学4年生以上

市営住宅などの入居者募集中

募集物件		募集戸数	選定方法	受付期間	問い合わせ先
高齢者向け賃貸住宅 ※60歳以上	コーポ花山(牛ヶ原)	20戸(1DK) 2戸(2DK)	先着	随時	光明寺福祉会 (☎ 65・7132)
	コーポめいりん(明倫町)	2戸(1DK)			
特定優良賃貸住宅	東二番町家住宅(元町)	4戸(2LDK)	先着	随時	交通住宅まちづくり課 (☎ 64・4815)
	西二番町家住宅(明倫町)	2戸(2LDK)			

※家賃は収入に応じて変動します

※それぞれ入居条件があります。詳しくは問い合わせてください

定員 20人(先着)
受講料 無料
申込方法 電話かファクス、電子メールで申し込む
申込締切 4月11日(金)午後5時
☎ 生涯学習・文化財保護課 (☎ 65・5590 FAX 66・2885)
電子メール shobun@city.fukui-ono.lg.jp

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円)
2枠2万円)

問い合わせ先

秘書広報室
(☎ 64・4825)

広告



その他

コミュニティ助成事業で 備品を整備しました

コミュニティ助成事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの収益金を活用して住民福祉の向上を図るものです。コミュニティ活動に必要な備品や集会所の整備などを実施しています。

この助成を活用し、南新在家自治会が活動備品として子ども神輿などを整備しました。これにより地域コミュニティ活動のさらなる活性化が図られます。

☎ 地域文化課 (64・4834)



証明書発行窓口延長

延長日時 毎週困午後5時15分～7時
窓口 市民生活・統計課(市役所1階②③番窓口)
予約 不要

マイナンバーカード窓口延長・休日交付

要予約 (☎64・4246)

	日程	時間
窓口延長	毎週困	午後5時15分～7時
休日交付	12日☐ 13日☐	午前9時～正午

4月の納期限



種類	納期限
固定資産税 第1期分	30日☐
軽自動車税	—
市県民税	—
国民健康保険税	—
後期高齢者医療保険料 (普通徴収)	—
介護保険料 (普通徴収)	—



広報アンケート



皆さんの声を紙面に反映し、より良い広報紙にするため、ご意見をお寄せください。

- Q1 今月号で良かった内容や写真があれば教えてください
Q2 取り上げてほしい内容や企画、風景があれば教えてください

回答方法

アンケートの回答、住所、氏名、年齢を専用フォーム
かはがきで回答

☎ 秘書広報室 (☎64・4825) 〒912-8666(住所
は書かなくても届く)



市民のうごき

令和7年3月1日現在(前月比)

世帯数	1万1619世帯 (-1世帯)
人口	2万9701人 (-43人)
〈男〉	1万4201人 (-24人)
〈女〉	1万5500人 (-19人)

◆2月中の内訳

転入	57人	出生	7人
転出	66人	死亡	41人

広 告

広 告

広 告

みんなの 情報掲示板

第15回トレモロサロンコンサート ミュージカル特集

日時 4月26日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)

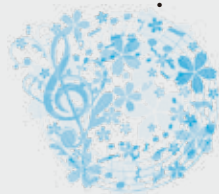
場所 平成大野屋平蔵

ゲスト 安形宏行さん、岡田健志さん

定員 100人(先着)

入場料 1000円

問 脇本さん(☎090・2834・2691)



市空手選手権大会参加者募集

日時 6月15日(日)午前10時～

場所 エキサイト広場

参加料 1000円

申込方法 電話で申し込む

申込締切 5月7日(日)

問 市空手道連盟事務局 久保さん
(☎090・1318・3408)



40歳の節目 第2の成人式開催

40歳の節目に同級生と集まり、学生時代を振り返って、一緒に盛り上がりましょう。

日時 8月16日(土)正午～午後4時(午前11時30分受け付け開始)

場所 結とびあ

内容 懇親会やアトラクションなど

対象 市内の中学校が高校を卒業した人で、令和7年度に40歳になる人

参加料 5000円

申込方法 専用フォームから申し込む

申込締切 6月30日(月)

問 第2の成人式in大野実行委員会

①電子メール

onocity.1985@gmail.com

②LINE



▲問い合わせはこちら



▲申し込みはこちら



皆さんの情報を募集中です！

「みんなの情報掲示板」は、市民の皆さんが参加するサークルや団体などが、市内で行う催しや会員募集などの情報を掲載しています。

掲載判断 審査および抽選

※同一個人、団体からの申し込みは、前回の掲載から6カ月以上(毎週開催される教室や講座、3カ月以上にわたって行われるイベント、会員募集は1年以上)経過したものを優先します

申込方法 専用フォームか秘書広報室(市役所2階②番窓口)で申し込む(申請書は市ホームページからダウンロードできます)

申込締切 5月号分：4月4日(金)午後5時、6月号分：4月18日(金)午後5時

問 秘書広報室(☎64・4825)



▲詳しくはこちら

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円
2枠2万円)

問い合わせ先

秘書広報室
(☎64・4825)

広 告



健康・福祉 だより



毎月第1火曜日は『健康プラスデー』

保健センターで毎月開催している「健康プラスデー」で、楽しい健康づくりを始めてみませんか。

健康状態の確認や、参加者同士が気軽に交流できる催しを用意しています。

- ①体脂肪や筋肉量が分かる体組成測定会
- ②月替わりの軽体操講座
- ③健康レシピの試食
- ④保健師や管理栄養士による個別の健康栄養相談（要予約）

☎ 健康長寿課（☎65・7333）



健康プラスデー

1日☎午前9時～正午
保健センター（結とぴあ内）



◀詳しくはこちら

健康栄養相談（要予約☎65・7333）

1日☎午前10時～11時30分
保健センター（結とぴあ内）

幼児健康診査

【1歳半児】
22日☎午後1時10分～1時30分
保健センター（結とぴあ内）

【3歳児】
23日☎午後1時10分～1時30分
保健センター（結とぴあ内）

後期高齢者医療新規加入者説明会

23日☎午前9時30分～10時30分
結とぴあ

休日急患診療所

【診療科目】 小児科（日・祝日のみ）・内科・外科
【診療日時】 土曜日（5・12・19・26日） 午後1～5、
午後6～9
日・祝日など（6・13・20・27・29日） 午前9～正午、
午後1～9

認知症や介護のこと、お茶を楽しみながらゆっくり話ませんか？

介護や認知症のことだけでなく、不安なことや気掛かりなことなど何でも相談できるよろず相談を実施します。専門職のスタッフがいますので、気軽にお立ち寄りください。

☎ 健康長寿課（☎65・5046）

●心むすびカフェ

日時 10日☎午前10時30分～午後1時
場所 ショッピングモールV i o
内容 「認知症予防」体と頭、お口を動かしましょう

☎ 健康長寿課（☎65・5046）

●やわらぎカフェ

日時 27日☎午後1時30分～3時45分

場所 大野和光園（篠座79-11）

内容 楽しく頭の体操をしましょう

講師 大野和光園職員

参加料 100円

☎ 大野和光園（☎66・6660）

●結のカフェ

日時 13日☎午前9時30分～正午
場所 大野きらめき（天神町3-21）
内容 認知症サポーター養成講座
講師 坪内勝俊さん

定員 20人（先着）

参加料 100円

持ち物 筆記用具

申込締切 11日☎

☎ 県民せいきょう大野きらめき（☎66・1211）

●オレンジカフェ

日時 18日☎午後1時～3時

場所 和が家（中据52-6-8）

※送迎可、☎69・1108に連絡してください

内容 作りたくなる！おいしいじゃがいもレシピ3選

講師 松田えりさん

定員 10人（先着）

参加料 100円

☎ 和が家（☎69・1108）



おとしょちゃん便り

図書館の新着図書
一覧はこちら▶



新着案内

一般図書



文房具屋さん大賞2025

扶桑社

文房具を使う場面は、ビジネスや学びの場をはじめ、推し活にまで広がっています。旅行がより楽しくなる旅文房具も紹介しています。新生活の準備として、文房具のプロが選んだ逸品を、自分や誰かのために選んでみてはどうでしょうか。



かぶきもん

まいばら
米原信／著
文藝春秋

歌舞伎が繁栄した江戸・文化文政期に活躍した二大スターの尾上菊五郎と市川團十郎。そして天才狂言師の鶴屋南北を登場させた創作歴史小説です。スカッと笑える歌舞伎物語の「はじまり、はじまり〜」。

児童図書



きよせきうばん 巨石運搬！海をこえて大阪城へ

あゆみ
鎌田歩／作
アリス館

瀬戸内海に浮かぶ小豆島は石の名産地。高くそびえ立つ崖から大きな石を切り出し、船に載せ、大阪へ運びます。大阪城の石垣に使われるのです。大きな石の長い旅を、迫力あるページ構成で描いた絵本です。



はるがきた！いいものいくつ？

おおたぐろまり／さく
福音館書店

春を告げるつくしが「1」本、花の周りを歩いてんとう虫が「2」匹、池の中にカエルが「3」匹…。公園の中で少しずつ増えていく「春」の訪れを、1から10まで数える絵探し絵本です。春のしるしをいくつ見つけられるかな？

図書館からの お知らせ

図書館利用が便利になる無料アプリをスタート

図書館のスマートフォンアプリ「おとしょちゃん」を作りました。主に次のことができるようになります。ぜひ利用してください。

- ・本人や家族の利用カードを登録すると、アプリが利用カードの代わりになる
- ・読みたい本や読んだ本を管理できる
- ・新着図書の情報や図書館からのお知らせを確認できる



アプリアイコン



▲アプリのダウンロードはこちら

4月の催し

ところのおやつのじかん

絵本の読み聞かせをします

【土曜日開催】

5日、12日、26日 土 午後2時30分～3時

【日曜日開催】

6日、13日、27日 日 午前10時30分～11時

あそぼう百人一首

5日 土 午後3時～4時

頭シャキーン&いきいき

OH! 脳音読会

8日 火 午前10時30分～11時30分

うきうき！ボードゲームくらぶ

19日 土 午前10時30分～11時30分

自然あそび

19日 土 午後2時30分～3時30分

絵本の部屋

絵本の勉強会です

23日 水 午前10時～正午

おはなし会

26日 土 午後3時～3時30分

0・1・2だっこでぎゅ

0歳から2歳までの親子で、わらべ歌と絵本を楽しみます

【0歳組】

12日、26日 土 午前10時30分～10時50分

【1・2歳組】

12日、26日 土 午前11時～11時30分



おおの 子育て つうしん

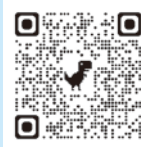
子育て支援センターの行事予定

子育て支援センターは、子育てをしているおうちの人なら、どなたでも利用できます。平日のほか毎月2回土曜日の午前中開いています。(第1・第3土曜日)

※変更になる場合あり

☎ 地域子育て支援センター(結とぴあ内)

☎65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら



遊びの広場(たんぽぽ広場)

対象 乳幼児とその保護者

日時 毎週月～金午前9～正午(ランチルームは午後0:30まで使用できます。昼食やおやつを持参してください)、午後1:30～4

5日・19日・26日午前9～正午(ランチルームは午前11:30まで使用できます)

場所 子育て支援センター(結とぴあ内)

●主な行事

【2カ月児ちゃん集まれ】3日・10日午前9:15～10:15

【えいごであそぼう! エッグハントをしよう!】7日・14日午前10:30～11:30※要予約

【ママとベビーのふれあいヨガ】15日・22日午前11～11:30
講師: ヨガ講師 飛石めぐみさん※要予約

【5カ月児ちゃん集まれ】17日・24日午前9:15～10:15

【はさみでちよきちよき】21日・28日こいのぼりの制作①午前9～②午前10～③午前11～④午後2～(全4回、1時間ごとに7人程度)※要予約

【誕生会】24日・31日午前11～11:30

対象: 4月に誕生日やハーフバースデーを迎えるお子さんと保護者※要予約

*行事がない日の毎週月・火は、午前11時から保育士による手遊びや紙芝居・絵本の読み聞かせなどを行っています。詳しくは「あそびにおいでよ!」をご覧ください。予約はいりません

◎子育て支援センターの行事予定表「あそびにおいでよ!」は市ホームページから見られます

育児相談に専門職(保健師・管理栄養士・保育士など)が応じます

日時 毎週月～金午前9～午後4

場所 地域子育て支援センター(結とぴあ内)

相談方法 直接お話、電話、メール、Zoom

※相談には予約がおすすめです

予約方法 市公式LINEメニューから各種相談をタップし、子育て相談を選択、または電話で申し込む



▲予約は市公式LINEから

児童デイサービスセンター くれよん教室

児童デイサービスセンターでは、ことばや発達などが気掛かりな子どもの相談と療育を行っています。

いつでも問い合わせてください。

♥子どものことばや育ちの相談(要申込)

日時 随時開催 午前9～午後5

♥子どものからだところ専門医による相談(要申込)

月1回 希望する人はご連絡ください

☎ 児童デイサービスセンター(結とぴあ内) ☎65・8535



▲詳しくはこちら



おおの 天空パーク

OSORA

おそら

イベント
情報

親子で楽しめるイベントを毎月開催しています。

【休館日】毎週月(月が祝日の場合は開館)

4月26日・27日 母の日アート制作

☎ おおの天空パークOSORA

(☎64・5109)

☎ こども支援課(☎64・5140)



▲申し込み方法など詳しくはこちら



ちっく・たっくの行事予定

ちっく・たっくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。ショッピングモールV i oで、定休日を除く毎日開いています。(午前10～午後6)

【定休日】9日、23日いずれも☎…V i o定休日

☎ 66・3775



詳しくはこちら
(ちっく・たっくホームページ)

ハンドメイド～フォトフレームを飾ろう！

※要予約・限定6組

日時 6日☎午前10:30～11:30

参加料 500円(材料費)

子育て講座～ふれあい遊び(タッチケア)&フォト撮影会

※要予約・限定8組

日時 17日☎午前10:30～11:30

講師 フリーフォトグラファー

倉田晶子さん・Natsukiさん

参加料 500円(データ3カット

分として)

※写真はLINEでお渡しします！

子育て塾～マイスターによる身体測定と育児相談

※要予約。母子手帳を持参してください

日時 22日☎午前10～11:30

講師 福井高等学校 衛生看護

科教員 藤井千代美さん

※今月のお話「子育て学」座談会

PICK UP

子育て世帯応援！ 福井県産米購入キャンペーン

福井県産米を1000円以上購入したふく育パスポート会員に、1カ月当たり1000円分のはぴコインを最大5回プレゼントします。※もち米は対象外

対象者 ふく育パスポート会員(妊婦を含む、18歳未満の子どもを持つ世帯)

対象期間 8月31日☎まで

※予算上限に達し次第終了

☎ ふくいアプリ・ふくいはぴコイン事業事務局

福井県産米購入キャンペーン係

(☎0776・50・7679)平日午前9時～午後5時

最大5000円分のはぴコインプレゼント！



▲申し込み方法など
詳しくはこちら

集まれおおのっ子 ひとり親家庭等学習支援事業



※4月の開催はありません

ひとり親家庭などの小中学生が参加できる学習会です。宿題で分からないところや、つまづいているところを習うことができます。

日時 毎月第1・2・3☎(年間36回)午前9:30～11:30

※5月10日☎から開始

場所 旧アドバンススクール(神明町1107番地)

申込方法 こども支援課(結とぴあ1階①番窓口)へ

申請書を持参か郵送で提出する。申請書はホームページからダウンロードできるほか、こども支援課にもあります

☎ こども支援課(☎64・5533) 大野市母子寡婦福祉連合会(☎090・9766・0372)

保育所・認定こども園 開放日 (未就園児)

保育所や認定こども園にまだ入園されていないお子さんが対象です。日程や内容など詳しくはホームページを確認してください。

☎ こども支援課(☎64・5140)



▲詳しくはこちら



4月の各種相談日

種類	相談名	要予約	開催日	時間	会場	問い合わせ先
保健関係	育児不安解消サポート事業 (お日さま広場)	○	17日	午前10～ 11:30	奥越健康福祉センター	☎66・2076 (奥越健康福祉センター)
	心の健康相談	○	2・16日	午後2～4		
	エイズ相談検査、B型・C型肝炎相談検査、性感染症相談検査	○	1・15日	午前9～11		
	補聴器相談		21日	午前10～正午	結とぴあ	☎64・5142 (福祉課)
	ストレス相談	○	10日	午後2～4		
法律関係	人権相談・行政相談		3・17日	午後1:30～ 3:30	結とぴあ	☎64・4820 (総務課)
	無料登記相談		9日	午後1:30～4	結とぴあ	
	法律相談	○	10・24日	午後1～4	結とぴあ	☎65・8773 (社会福祉協議会)
中小企業相談 (商工業に関する相談)	経営(商業)相談	○	8日	午後1～4	大野商工会議所	☎66・1230 (大野商工会議所) ※相談日の前日までに 予約してください
	労働相談	○	10日	午後1～4		
	金融相談 (日本政策金融公庫・中小企業事業)	○	14日	午後1～3		
	法律相談	○	17日	午後1～4		
	税務相談	○	22日	午後1～4		
	夜間相談	○	3・17日	午後5～8		
その他	結婚相談・女性悩みごと相談 (レディース・トラブル・バスター)		2日	午後6～8	結とぴあ	☎64・5533 (こども支援課)
			9・16・ 26日	午後1:30～ 3:30		
	年金相談	○	24日	午前10～午後3	大野商工会議所	☎0776・23・4518 (福井年金事務所)
	臨床心理士による教育相談	○	10・17・ 24日	午後1～5	青少年教育センター	☎66・7717 (青少年教育センター)
	心配ごと相談		24日	午前9～正午	結とぴあ	☎65・8773 (社会福祉協議会)



施設休館日

施設名	休館日
学びの里「めいりん」	なし
公民館	29日
図書館	7・14・20・21・28・29日
本願清水イトヨの里	7・14・21・28・30日
水のがっこう	7・14・21・28・30日
歴史博物館	なし
民俗資料館	7・14・21・28・30日
越前大野城	なし
くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ	7・14・21・28日
HOROSSA!	1～16・21・28日
武家屋敷旧内山家	1・8・15・22・30日

施設名	休館日
武家屋敷旧田村家	1・8・15・22・30日
文化会館	7・14・21・28日
COCONOアートプレイス	7・14・21・28・30日
B & G海洋センター	7・14・21・28・30日
エキサイト広場	2・9・16・23・30日
あっ宝んど	8日
うらら館	7・14・21・28日
平成の湯	1・8・15・22・30日
結とぴあ(有終会館)	なし
おおの天空パークOSORA	7・14・21・28日



新1年生(昭和53年撮影)

約47年前の乾側小学校の入学式当日に、新入生が初めて教室に入って着席している様子です。それぞれが緊張した面持ちで前を向いています。

(提供：乾側小学校)



ふるさと大野



物語



田植え(昭和20~30年ごろ撮影)

戦後間もないころの田植えの様子です。腰に籠を下げ、苗を1本ずつ取り分けて植える作業を、何人もの女性が協力して行っています。

(提供者：田中文字子さん)

大野の歴史・文化・伝統を記録した写真などを収集保存しています。家庭に古い写真などを持っている人は、ぜひ連絡してください。皆さんの協力をお願いします。

☎ 生涯学習・文化財保護課(学びの里「めいりん」内) ☎ 65・5590

おおのっ子

VOICE



私の夢は「プラネタリアン」

大谷 名奈さん 小山小学校5年(3月末現在)

私の夢はプラネタリウムで星の解説などをする「プラネタリアン」になることです。理由は、星空を眺めることや星座の神話が好きだからということと、自分の知っていることを友達に教えることが好きだからです。

星に興味湧いたきっかけは、本屋さんで買ってもらった星の図鑑が面白かったからです。教えるのが好きな理由は、人に教えていると自分も新しい発見に出会えるからです。

これからは図書館で星の本を借りたり、家から見える星空を観察したりして、楽しく勉強していきたいです。

トランポリンを頑張っています

尾崎 心美さん 富田小学校5年(3月末現在)

私は今トランポリン競技を頑張っています。お姉ちゃんが楽しそうに跳んでいるのを見て、私もやりたいと思い4歳から始めました。特に心に残っている思い出は、初めて空中で一回転できたことです。怖かったけど成功できたことがうれしくて、ますます好きになりました。トランポリンをしていて良かったことは、オリンピック選手と一緒に練習ができたり、県外の選手と友達になれたりしたことです。

今は次の大会に向けて新しい技を練習しています。難しいですが、大会で成功できるように練習を頑張りたいです。



おおのっ子VOICEに参加しませんか？

高校生以下の市民で掲載を希望する人を募集します。内容は夢や目標、頑張っていることなどです。ささいなことでも構いません。詳しくは秘書広報室まで ☎ 64・4825

学校飛び出し まちなか彩る

大野高校美術部

1年生5人、2年生3人で活動している大野高校美術部。勉強や学校行事と両立しながら、日々創作活動に励んでいます。そんな美術部の活動の場が、学校内にとどまらず、本市のまちなかへと少しずつ広がっています。（学年、人数は3月末現在）



主な活動

部活動は週3回。油絵やアクリル画など、校内で発表するものから県規模の発表会に出品するものまで、幅広い創作活動に取り組んでいます。

制作するのは個人作品と、部員が協力して一つの作品を仕上げる共同作品があり、チームワークを生かした作品作りにも挑戦しています。

まちなかに広がる 創作の場

その活動が校内だけでなく、本市のまちなかに広がっています。令和4、5年の夏には、部員が絵付けした提灯を御清水につるし、令和5年12月には、亀山の麓にある看板に御清水をモチーフとした絵を描きました。

そんな中、これらの活動を目にした市内の理容室から、「ぜひ私の店に、大野高校美術部の描いた絵を飾らせてほしい」と依頼が舞い込みました。

部長の石井陽菜さんは「自分たちの作品が地元の店に飾られるという貴重な機会に感謝しています。部員たちと話し合い、立体的になる塗料や綿棒を使うなど新しい手法にも挑戦し、良い経験になりました」と笑顔で振り返ります。

副部長の中村あやのさんは「お店の繁盛や、お客さんが明るい気持ちになることを願って『不死鳥』を描きました。全体の色味など試行錯誤を重ね、みんなで協力して細部までこだわりました。お店の中で話題の一つになれば嬉しいですね」と作品に込めた思いを語ります。

今後の活動への思い

今回の経験を生かして、2年生は高校生生活最後となる6月の作品発表に向けて、1年生は先輩の背中を見ながら、これからも創作活動に励んでいきます。

「先輩がつくってくれた地域とのつながりの輪を、自分たちも少しずつ広げていきたい」「この経験を今後の作品作りに生かしていきたい」と、1年生の皆さんは笑顔で意気込みを語ります。

暮らしの中に美術が根付く大野市。そのまちなかを舞台に広がり始めた、地元高校生によるアートの波に注目です。



依頼をしたヘアサロンわしの店主の鷲野さんと、店内に飾られた作品「不死鳥」

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円)
 2枠2万円)

問い合わせ先

秘書広報室

(☎ 64・4825)

広 告

全国の舞台で驚異の12人抜き

向岩 玖恩さん くおん 陽明中学校3年(3月末現在)

向岩さんは、1月19日に開催された第30回全国男子駅伝に県代表として出場し、出走した2区3区で区間6位12人抜きという、圧巻の走りを見せました。そんな輝かしい活躍の裏には、苦悩の日々や走りに込められた並々ならぬ思いがありました。



走り始めたきっかけは
何ですか

小学3年生の時に出場した越前大野名水マラソンがきっかけでした。思い出づくりのつもりでエントリーしましたが、負けず嫌いの性格から、「走るからには頑張ろう」と練習を重ねました。

結果は思いもよらない入賞でした。達成感だけではなく、周りが喜んでくれたという経験が、陸上競技をスタートさせる原点だったと思います。

本格的に陸上競技を始めた当初は県大会で入賞すらできず、悔しい日々が続きました。そんなときに、同年のライバルや憧れの先輩の活躍に力をもらい、今もこうして走り続けることができています。

全国の舞台の感想を
聞かせてください

全国男子駅伝では、目標としていた区間10位以内で県初の8分30秒台で走ることができ、うれしく思います。ですが、ラストパートで競り負けてしまいました。今後の課題も見つかる大会でした。

今だからこそ言えますが、大会の2カ月ほど前までは精神的に辛い時期が続き、出場の辞退

すら考えていました。

学校生活にも陸上競技にも前向きになれずとても苦しかったです。そんな自分に、クラスみんなや先生が毎日励ましのメッセージを届けてくれ、少しずつ気持ちが軽くなっていきま

した。それと共に、支えてくれた人たちの感謝を「走り」で伝えたいという思いが強く芽生えました。陸上競技は決して個人競技ではなく、周りの助けや支えのおかげで走れているのだと心の底から実感しています。

今後の抱負を
聞かせてください

4月からは敦賀気比高校に進学し、陸上競技を続けます。力をつけて、ゆくゆくは箱根駅伝で区間賞が取れる選手になりたいです。走りを通して一人でも多くの人に勇気を届けられるよう頑張ります。応援をよろしくお願いします。



昨年を上回る27位でゴールした福井県チーム。向岩さんは左から2番目

広 告

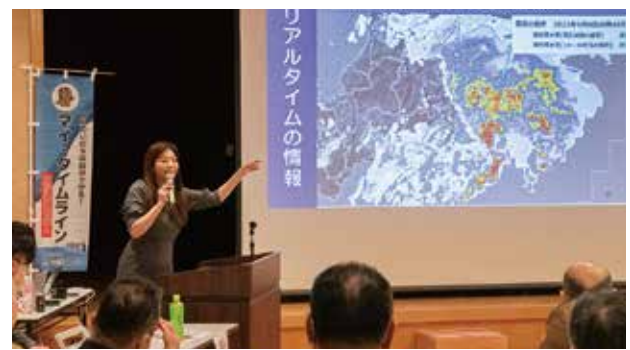
広 告



2/27 旧 乾側小の交流 下庄小が受け継ぐ

下庄小学校の6年生56人が、京都市立醍醐小学校の6年生とビデオ通話で交流しました。京都市醍醐寺の荘園が乾側地区にあった歴史的なつながりから、旧乾側小学校と醍醐小学校は長年交流を続けてきました。現在は、下庄小学校がそのつながりを受け継いでいます。

授業では、各校の児童が自ら手作りしたCMやクイズを交えて、地元の魅力について紹介し合いました。旧乾側小学校の児童は「こうして交流が続いて嬉しい。また京都に遊びに行きたい」と笑顔で話していました。



2/16 も しもの時の避難行動 気象のプロに学ぶ

文化会館で自主防災組織のリーダー向け研修会を開催し、85人が参加しました。気象予報士の半井小絵さんと土井邦裕さんが講師を務め、近年の気象災害の特徴や、避難行動を時系列で整理した計画「マイ・タイムライン」などを解説しました。

半井さんは「風水害は事前の備えができる。気象情報を活用し、早めの避難行動を」と呼び掛けました。参加者はマイ・タイムライン作成を通じ、自宅周辺の浸水リスクや避難経路、災害発生までに取るべき行動を再確認し、防災意識を高めていました。



3/3~7 都 市部の学生が 雪国インターン

関東や関西の大学に通う学生6人が、市内のスキー場や牧場でインターンシップを行いました。これは、田舎暮らしを体験することで、学生に「地域で暮らす」という選択肢を持ってもらおうと、地域おこし協力隊の川口起司さんが企画したものです。

「きむら牧場」のインターンシップに参加した大阪大学3年生の平根晶さんは「雪のある生活や、一次産業に興味があって参加した。今回の体験を通して仕事への見方が変わった」と満足げに語りました。

川口さんは「これをきっかけに今後も大野市と関わり続けてほしい」と期待を胸に話してくれました。



2/18 大 野らしい散策グルメ 新たに14品

食べ歩きをしながら本市の観光をより楽しんでもらおうと、令和5年度から始まった「越前おおのワンハンドグルメ」に14品が加わりました。市内の11事業者が「大野らしさ」をテーマに試行錯誤を重ね、けんけらやサトイモ、酢などの大野の味覚を使った商品や、雲海や名水をイメージした商品を開発しました。

試食会に訪れた大学生は「かわいいだけでなく大野らしさもあって、SNSで紹介したくなる」と、おいしそうに本市の新たなグルメを堪能していました。



3/11 プロへ羽ばたく先輩へ
母校から力強い応援

上庄小学校の全児童が、広島東洋カープに入団した竹下海斗選手の活躍を願い、応援メッセージを球団旗に寄せ書きました。竹下選手は上庄小学校時代に野球を始め、進学した敦賀気比高校では、投手として3度の甲子園に出場しました。

旗には「上庄小学校の先輩で誇らしく思っています。いつか学校にも遊びに来てください」「上庄さといもを食べて頑張ってください」と、地元ならではの心温まるエールがあふれていました。

寄せ書きした旗は、児童代表が竹下選手の家族に届けました。



3/8 願いをのせたランタン
夜空に輝く

「六呂師ランタンナイト」が六呂師高原ミルク工房奥越前の周辺で開催され、県内外から120組約300人の来場者が参加しました。「日本一美しい星空」に選ばれた本市の夜空をより多くの人に楽しんでもらおうと7年前から開催されており、冬の人気イベントとなっています。

福井市から参加した家族連れは「今回で3回目の参加。幻想的な雰囲気今年も子どもたちと楽しみたい」と笑みを浮かべながら、願い事や家族の似顔絵を書き込んだランタンを夜空へと飛ばしました。



3/9 斬 新たなアイデア競う
光る大野の新ビジネス

「大野ならではの」の手法と斬新なアイデアで新事業の創出や商品開発に取り組む「結のビジネスプランコンテスト2024」の最終審査会が結とぴあで開催されました。予選審査を通過した6個人・団体が発表を行い、最優秀賞には、昆虫を原材料にした飼料でサーモンを養殖するプランを提案した村上雄哉さん(福井県立大学)が選ばれました。この他、本市の郷土料理「すこ」やハナモモを活用したプランや、シェアキッチンでまちなかの賑わい創出を目指すプランなどが発表されました。

発表を聞いた審査員は「どのビジネスプランも大野市の強みを生かしたもののばかりで、夢をもらえる発表だった。大変だとは思うが実現に向けて頑張ってもらいたい」とエールを送っていました。



▲発表の様子や結果はこちら

七間朝市

山菜フードピクニック

4月26日(土)
午前9時～午後3時

(午前9時オープニング式典)

4月27日(日)
午前8時～午後2時

越前大野の豊かな自然に育まれた農産物や、さまざまな種類の山菜が勢ぞろいします。キッチンカーや飛騨高山の特産市、山菜の天ぷらやおろしそばが味わえる山菜茶屋も出店します。七間通りで春の味覚を思う存分堪能してください。

問 越前大野七間朝市振興協議会 (☎69・9520) ※平日の午前中のみ

七間朝市
4月20日(日)
午前8時～午後3時

COVER - 表紙の写真 -



願いを込めて団子まき

木本の伝統行事「木本区はつまつ初午だんご撒き(おおの遺産認証)」。防火や豊作の願いが込められた団子がやぐらから勢いよくまかれると、訪れた人々は歓声を上げながら拾い集めていました。

読者アンケートの結果を踏まえ、今月号から紙面構成やデザインをリニューアルしました。いかがでしたか。
題字に添えた「もつと大野が好きになる」。掲載した市の取り組みや市民の皆さんの活躍を見て、紙面を開く前より大野が好きになっただけでなく、たいらという願いを込めていきます。よりよい広報紙を目指してこれから頑張ります。



編集後記



亀山は観光ポイントのみならず、大野市民の憩いの場所であるが、春の訪れを足元から実感できる。▼中でも水

落口からの散策路がいい。四月の声を聞くと、可憐なエンゴサクに萼、斜面に白や淡い紫のキクザキイチゲ、片栗の花が目を楽しませてくれる。もう少しすれば、山吹の黄金色が道を彩り、亀山観音堂の山桜の古木も花開く。▼下旬になると、近郊の田圃に水が張られ、田植えの季節が近づいて来たなと思う。今年も、丁の山の中腹に二又の噴水のように咲いている山桜を確めて、ほっと和みたい。▼雪深い冬を乗り越えた四月は、恙無い春の訪れを喜び、感謝する気持ちが殊に強い。人間の暮らしが四季の巡りに根差して営まれて来たことに、改めて気づかされる。▼「風光」は春の季語だが、言い得て妙である。花冷えの日もあるなど、まだ気候が安定しない中で、日の光の強さは紛れもなく春を感じさせる。新緑の野山の眩しさが風に乗り、街中も明るい光景が目につく。心地良い陽気とは若干の距離感がある、まずは目が捉えた季節感が端的に言い留められている。▼「麗しき春の七曜またはじまる」(山口誓子)。四月は、新しい年度が始まる月でもある。溢れ出す自然の命を感じつつ、日々をリズムカルに整えていきたい。(九里順子)